

市民歴史文化講座

—津島本町筋の景観を考える—

4月29日(金・祝) ①10時②13時③14時30分

津島の中心市街である本町筋には、近世町家景観、祭り文化、茶の湯など固有の生活文化が蓄積されている。町家は一本の旧津島上街道に沿って連なり、全体としての町並みを形成しているため、町家それぞれが統一性と整合性に心配りをし、町全体の調和につとめていた。また、津島の町家の大きな特徴は、お茶室である。津島の町家の多くにお茶室がある。これは津島の町家文化・建築様式として全国的にみても稀有な例である。しかしながら現在の本町筋の町家は徐々に空き家、取り壊しが進んでいる。



① 10時～ 『本町筋を歩く -町家景観の現況- 』

現地集合:津島市観光交流センター(本町1丁目 52-1)

案内人:黒田剛司(天王文化塾) 定員15名(申込 090-1620-7655)

津島の中心市街地であり、歴史的建造物・景観の保全を必要とする本町筋。1986年には町家建築実態調査が行われている。36年経った現在、町家景観はどのように変化しているのか、現地を歩きながら経過観察するとともに景観保全について考える。

② 13時～ 『知多市岡田地区の歴史的建造物の保全・活用について』

会場:津島神社社務所2F(神明町1)

講師:本山幸二(あいちヘリテージマネージャー・一級建築士・設計工房エム)

NPOAHC(あいちヘリテージ協議会)に所属するヘリテージマネージャーとして、知多市岡田地区の岡田街並保存会(1994年発足)とともに、知多木綿で繁栄した歴史的建造物の調査や修理などの活動を通じ岡田地区の町並み・景観の保全・活用を図っている。

③ 14時30分～ 『津島市本町筋の景観と町家保全』

会場:津島神社社務所2F(神明町1)

講師:瀬口哲夫(名市大名誉教授 専門:近代建築史・歴史的まちづくり)

市民共有の財産「景観」。瀬口氏は「本町筋には、表通りから見える町家の姿だけでなく、豊かさが内部にある。それはひとりの豊かさではなく、大勢の豊かさの反映である。このような町並みは極めて珍しい。津島の誇りではなかろうか。」(雑誌「AT」1991)と述べる。

主催:津島市観光協会・NPO 法人まちづくり津島

問合せ先:090-1620-7655(天王文化塾)